

矢部高校通信

文責：校長

農産物販売会



例年、文化祭と同時に行っていましたが、生徒たちも文化祭を楽しむために別日に実施しました。メロンやダイコン、シクラメンや花苗、食品加工品やタマネギ苗など生徒たち

が丹精込めて育てたものを販売しました。今年も好評でしたが、熊本市内から毎年購入に来られる方もいらっしゃいました。生徒たちも素晴らしい笑顔と接客態度でした。「来年もまた来るよ～」という言葉が一番の励みになります。

森林・林業の技術交流発表大会



森林・林業の再生を九州から実現していくため、林業の活性化や林業技術の向上に関する情報や技術の交流を図る目的で毎年行われています。今年は、高校生の部に九州内6校の参加がありました。その中でも矢部高校は、昨年に引き続き優秀賞をいただきました。行政の取組や林業家の方々の取組、他の高校の取組状況など、これから学びに刺激になるものが多くなったようです。引き続き、課題研究を中心に探究的な学びを深めてもらい、林業科学科の活動を発信してほしいと思います。

収穫感謝祭



食農科学科ではこの季節、収穫の喜びに感謝するために、この行事を行っています。祭壇に各専攻生が学習の取り組みと成果としての生産物を供え感謝の気持ちを伝えました。その後、学校で採れた野菜をふんだんに使った豚汁と丹精込めて育てられたメロンをいただきました。食や農業の大切さ、命の大切さを再認識する良い機会となっています。

文化祭



今年の文化祭は、「金碧輝煌(きんぺききこう)」～笑顔輝け！青春 Memories～という体育大会に引き続きのテーマで、「自ら気づき 考え 行動する」という教育スローガンのもと、日頃の学習活動や部活動など、生徒の皆さんのが取り組んできたものを発表し理解してもらう良い機会となりました。文化委員会や生徒会、各クラスがアイデアを出し合い、より文化的な取り組みを増やし、協力しながら作り上げてくれました。ステージ発表や展示、バザーと盛り上がりました。また、育友会の皆様にもバザーとしてカレー販売の協力もいただきました。町との共同の認知症パズルも大盛況でした。

くまもと農業フェア



県農業公園で毎年行われています。このフェアには農業高校からも出店されます。本校は文化祭の次の日でしたので出品数は少なかったのですが、ジャムやガーデンシクラメンを持っていき、午前中には完売しました。生徒にとっては、他校の生徒と交流したり、生産物を知ることができました。また、購入者とコミュニケーションをとったり、お隣の農業大学校の学園祭へ足を運び、先輩たちの頑張りを見たりして刺激を受けたようです。